

第2回 天神川流域治水協議会 議事概要

1 日時：令和2年9月15日（火）～16日（水）

2 会場：倉吉市役所 応接室ほか

3 出席者

（委員）

倉吉市長 石田耕太郎

三朝町長 松浦弘幸

湯梨浜町長 宮脇正道

北栄町長 松本昭夫

国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所長 山田 明

（オブザーバー）

三朝町 総務課 参事 河村明浩

建設水道課長 藤井和正

〃 補佐 蔵増繁幸

湯梨浜町 副町長 亀井雅議

湯梨浜町 建設水道課長 齋藤 聡

〃 補佐 木山高志

北栄町 地域整備課長 倉光 顕

（事務局）

国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所 副所長 丸下淳一

〃 工務第一課長 佐野孝行

4 議題

（1）流域治水プロジェクトについて

（2）天神川流域治水プロジェクトについて

（3）天神川流域治水プロジェクト策定スケジュール

（4）意見交換

5 議事概要

(1)～(3)の説明内容は別添「流域治水プロジェクト自治体説明資料」のとおり。

【石田倉吉市長】

- ・ 中間とりまとめ（案）にある河川に関わる対策は、国の現行の整備計画について記載されているのか。
- ・ 霞堤背後の土地利用規制については、考えていかないといけない。補償の方法があれば地元に話がしやすい。

【国土交通省】

- ・ 河川に関する対策は、現行の整備計画のメニューを記載している。

【松浦三朝町長】

- ・ 霞堤背後の土地利用規制と同様に大原付近の田んぼについても開発制限をかけることを考えた方が良いかもしれない。

【宮脇湯梨浜町長】

- ・ 中間とりまとめ（案）の流域の対策として、湯梨浜町からため池の整備を挙げていたが落とされているようだが何故か。

【国土交通省】

- ・ 天神川の流域治水プロジェクトということで、氾濫域にあっても天神川の氾濫解消に繋がる効果が見えにくいものは落とさせてもらっている。

【湯梨浜町】

- ・ 了解。

【松本北栄町長】

- ・ 平成30年西日本豪雨の際には北栄町でも由良川周辺など広範囲にわたって浸水被害を受けた。北栄町は、低平地が多く浸水のリスクが大きい。河川の水位が高ければ、内水を排水することも出来ない。

以上